



蔵 DE Books  
としよだより

# ほんとしおり

Vol.5

2017年4月発行



遠く遠くの  
その先は

ある時は異国のバスの中。ある時は夜の国道で。どこか遠くへ行くと、たまに「ずいぶん遠い所に来たな」ということを強く実感する瞬間があります。実際に遠い所にいるのだから、そう思うのは当然だけど、それにしてもその感覚は時として私の心を深く揺さぶるのです。

このまま外に放り出され、慣れ親しんできた場所に帰れなくなったらという不安がありつつも、この知らない景色の向こうを見て見たいという気持ちの方が強い。この、「好奇心」と「心細さ」が絶妙に混ざりあった感覚を味わうために、私は遠くまで行くのかもしれない。

昔、友達と行った沖縄の旅で道に迷った時も、あの感覚がありました。それまで堪能していた沖縄の景色が急によそよそしく感じ、不安になると同時に、もし私がこの景色の一部になったらと、想像を巡らしていました。無事目的地にたどり着くと、不安はすっかり消え、南国の夕暮れを眺めながら、あの夕空の向こうの世界を見てみたいと思っていたのでした。人の心は潜在的に新しい景色を求める続ける。その好奇心が新しい景色のさらに先へと駆り立てるのかもしれない。

私達の活動も5年目。必死で走って、気がつくときまで見たことがない景色。そしてまた新しい春がきました。いつもの道もいいけれど、たまには違う方へ。少し不安でも、春の気ままな風が新しい場所へ運んでくれるから。



星新一の作品

星のような数の作品群と星という名前。これほど今回のテーマにふさわしい作家はいないのではないのでしょうか？ ショートショートのパターンもはっとさせられるお話、一気に畳みかけられるお話、教訓めいたお話、現代のお伽噺のような不思議な話、怪奇ホラーな話、空想科学や未来科学のお話などと多岐にわたっていて、しかも宇宙規模のお話も多いので、夜空に浮かぶ星のどれかで実際にこんな事件が起きているのかも…？と空想を巡らせることもできます。(大納言 選)

3月に開催した「文学喫茶」で『銀河鉄道の夜』を朗読した私達は、すっかり星の世界に魅せられてしまいました。そこで、夜空を見上げたくなる本をご紹介します。夜の寒さも和らいできたこの季節。たまにはゆっくり星ながめてみませんか。

星座と深いかわりをもつ、ギリシア神話、そして12星座や夜空に浮かぶ星座一つ一つにまつわるエピソードを、分かりやすく紹介している本です。(やよい 選)



『星座神話の物語』 磯部しゅう三 監 雄鶏社

# 見上げる夜空の本をく

かこ さとし ほしのほんシリーズ かこ さとし 著 偕成社

絵本作家かこさとしが、星の素晴らしさを伝えるために作った絵本。春夏秋冬の星がわかりやすい絵と美しい写真で解説され、大人が読んでも楽しめます。(大納言 選)



芥川賞作家、川上未映子と、精神分析、生物学、文学、哲学など様々な分野のエキスパート6名との対談を収録したのが本著である。幼心むき出しの無邪気な好奇心を持った川上さんの問いに、六名の学者の知力が呼応する読み応えのある対話集なので、川上ファンはもちろん、それぞれの学問領域に興味のある人が読んでも面白い。逆に、この本から、それぞれの学問に向かっていくような読み方もでき、様々な角度で楽しむことができる。是非、ご一読あれ！(小町 選)

『六つの星』 川上未映子 著 文春文庫



【春の星座】 (下から時計回りで) おとめ座、うしかい座、へび座、こぐま座。おおくま座、しし座



『オレの宇宙はまだまだ遠い』 益田ミリ 作 講談社

32歳書店員、土田の物語。夜空を見上げ、広大な宇宙に想いを馳せながら、今日も土田は「人生の意味とは何だろう」と自問自答をするのでした。絵はほのぼのしていますが、人生の中で誰しもが抱く複雑な心境を、ドキッとするような鋭い言い回しで表現していて、気がつくと土田に共感してしまいます。道に迷いそうな時は夜空を見上げ一息つければ、何かが見えてくるかもしれません。書店員ならではの本の話も面白いです。(やまね 選)



kanaさんよりコメント 今回のネタは、分かってもらえる人には分かってもらえるという感じです。(笑)

- 12 蔵のイベント情報/利用案内/寄贈について
- 11 オススメの本『声に出して読みたい日本語』としよがかりの声③「遠野のオオカミ」
- 10 としよがかりの声② 「物語を支える主人公の魅力 完結編」
- 8 としよがかりの声①「旅×本」 第四回 九州うまいもの巡りの旅
- 6 物語メシ！ 『ちびまる子ちゃん』/さくらももこ作より 母の日に作ったグラタンとサンドイッチ
- 4 本のお供/お供を探しに
- 3 夜空を見上げたくなる本

72分の1の、こんにちわ。

【麦秋至】 第24候 5月31日〜6月4日

むぎのとぎいたる。麦畑一面が黄色の穂が揺れる麦にとつての実りの季節。梅雨前のわずかな乾季。農家では収穫に勤む。六月一日は「水の節句」、「水の湖(ついでたち)」とよばれ、宮中や将軍家では献上された水を食す行事が。この水に見立てた和菓子「水無月」は三角のうしろに小豆が散らしてある。

《参考書籍》「くらしのこよみ」 うつくしいくらしかた研究所/平凡社

日本の四季には24の節気と、72の諸候があります。日々の小さな変化に耳をすますと、季節の足音がそっと聞こえてきます。



蔵 DE Books としよだより

ほんとしおり

Vol.5 2017年 4月号

遠く遠くの その先は

## ～ほんとしおりについて～

2015年秋に矢板武記念館の東蔵にてオープンした蔵 DE Books を、たくさんの方に親しみをもって利用してほしいという思いで作っています。

蔵 DE Books の管理、運営をしているとしよがかりメンバーによる自由気ままな読み物や、本にまつわるあれこれ、そして蔵のイベント情報を楽しく元気にお届けいたします。

本にしおりをばさんたら、一息ついて次は何する？



# ①高塩和菓子店

- ・菜の花万頭 (季節によって、商品が変わります。)
- ・コーヒーに合う和菓子

数ヶ月前にオープンした、赤い屋根に可愛いのれんの和菓子屋さん。素敵な姉妹が切り盛りしています。全て手作業で、こだわりの材料で作られた和菓子はどれも可愛い。飽きさせないよう季節感を取り入れているそう。本のお供には手軽に食べられるお万頭。取材に来た時には「菜の花お万頭」が。黄色が春を感じさせます。また、「コーヒーに合う和菓子」には白あんとホワイトチョコにクランベリーの赤がアクセントに。



木幡 2582-3 Tel:0287-55-1717 AM9:00~PM4:00 定休日:木曜

# ②ウィーン洋菓子店

## 焼き菓子5種

メンバーが子供の頃からある洋菓子店。矢板で洋菓子といえばここという方も多いはず。お供には焼き菓子。マドレーヌ、フロンティーナ、レーズンケーキ、ティーブロード、レーズンケーキの5種類。これならいろんな好みの人でも満足できそう。マドレーヌの膨張剤以外は添加物を



使わず、バニラエッセンスではなくバニラビーンズを、マーガリンではなくバターを使用。値段が手頃なのは、ご主人の病気で一時休店していたので、そのお詫びに。矢板の名店、復活バンザイ!

本町 1-17 Tel:0287-43-9765 AM10:00~PM6:00 定休日:火曜、第1・3水曜

## お供が たくさん揃ったら...

蔵でみんなで読書タイム。記念館の近くの高橋金物屋さんで売ってる、自家焙煎珈琲も淹れて。美味しい食べ物と珈琲の香りと温かい雰囲気蔵でまったり読書。幸せ。ご協力頂いたお店の皆さん、ありがとうございました!



# お供を 探しに



本を閉じて街へ、お供を探しに行こう。矢板市には、素敵なお店がたくさんあります。昔からある馴染みのお店や、おしゃれなお店、温かいお店におもてなし上手なお店。味はどれも文句無し。犬も歩けばというけれど、きっとお気に入りのお供が見つかるはず。

# ③プチコナ

## スコーン・プレーン・チョコ

内川の沿いの小さなパン屋さん。小さいながらもいろんなパンが並び、どれもふっくらした顔。オススメは



スコーン。プレーンとチョコがあります。粉の味がしっかりしていて食べ応え充分。オススメの食べ方は、「オオカミの口」と呼ばれる側面の裂け目を割って、ジャムやクリームを塗って食べる。食事を作らず



読書に没頭したいときは、スコーンを食べるのもいいかも。お店の外からは高原山の綺麗な景色が見えます。

富田 58-3 定休日:月曜、木曜、日曜

# 大納言のお供【サウンドトラックCD】



基本的に特撮かゲームのサウンドトラックを聴きながら読書します。特に特撮シリーズのサウンドトラックはSFものやホラーものを読むときに聴くとしっくりきます。この中でのお気に入りには帰ってきたウルトラマンのサウンドトラック。

# やよいのお供【お菓子と紅茶とこたつ】

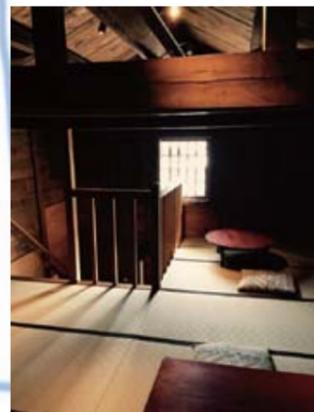
温かい紅茶とお茶菓子を傍らに置き、こたつでゆっくりとくつろぎながら読書。今日のお菓子は何にしようかな…?



いつものお供もいいけれど、たまには気分を変えたい。そんな時は…。

# 小町のお供【静かな空間】

読書の時、最も重要なことは、「静けさ」を確保することだ。図書館に行くとか、遮音性のいい耳栓やイヤホンをつけてみるとか、方法は色々あると思う。いずれにしても、本は、耳に余計な音が入らない環境で読めるに限る、と私は思う。音の多い場所で読めないこともないが、個人的には、静かな場所で読んだほうが、文字を読んで頭の中で映像化するスピードや、記憶への残りやすさも断然違う。聞こえてくるのはページをめくる音だけ。そんな静謐な空間で、本を読んでいた



# やまねのお供【夕方の、カフェの窓側の席】



カフェでのんびり本を読むのが、私にとって至福の時間です。特に本を読むのにオススメのカフェは、昔働いていた黒磯駅前の「カフェグランボア」(市内じゃなくてすみません。)大正時代に黒磯銀行だったという建物は、落ち着いた雰囲気です。そしてグランボアの中でも特に、夕方の窓側の席が最高です。西日が柔らかく差し込む席で読書に耽るのは、まるで小説の一場面のように。実は私自身はここで読書をしたことはないけれど、お客さんがあの席で本を読んでいるのを見て、絵になるなーとうっとりしていました。店内には面白そうな本もたくさんあります。

# 本のお供



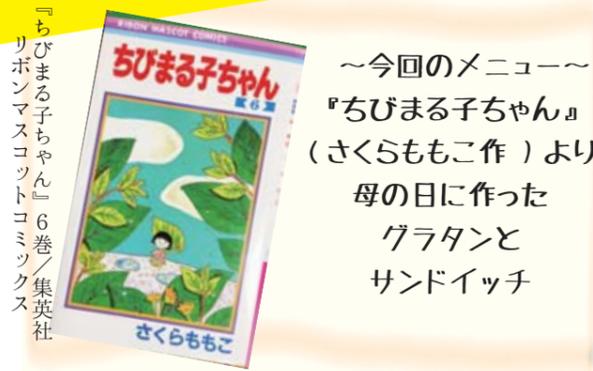
のんびり読書タイム。それは、本好きにはかけがえのないひと時。そして、本好きなら誰でも、読書する時に欠かせない、こだわりの食べ物や音楽、場所、環境などがあるのです。さてさて、としよがかりメンバーはどんなお供と一緒に読書を楽しんでいるのでしょうか。

名作に、いつも美味しいごはんあり。面白い物語には、その作品ならではの名物料理や、登場人物の思いの詰まった料理が登場する。それが、「物語メシ」である。このコーナーでは、とじょがかりが独断と偏見で選ばせていただいた作品の「物語メシ」を、実際に作り、食べるまでの過程をまよめていく。

今回は、さくらももこさんの『ちびまる子ちゃん』より、マカロニグラタン、サンドイッチを作る。母の日に、姉といっしょにご飯を作り、母親に振る舞う。そんな心温まるエピソードが、原作の中で描かれている。娘から母へ想いの詰まった料理は、まさに「物語メシ」にぴったりである。それでは早速、料理について解説していこう。

# 物語メシ

文 小町  
写真 やまね



～今回のメニュー～  
『ちびまる子ちゃん』  
(さくらももこ作)より  
母の日に作った  
グラタンと  
サンドイッチ

- 材料
- グラタン
    - マカロニ 100グラム/マッシュルームの水煮 40グラム/
    - 鶏のささみ 100グラム/たまねぎ 1/2個
    - バター 30グラム/ 薄力粉40グラム/牛乳300cc/
    - 塩胡椒 少々/とろけるチーズ 大きじ2/パン粉 お好みで/
    - パセリ お好みで
  - サンドイッチ
    - 食パン 4枚/卵 1個/レタス 1、2枚/ロースハム 1枚
    - マヨネーズ 適量/塩 少々/バター 少々



きれいに切り揃えるのも美味しさのポイント。基本のサンドイッチは懐かしい味。



写真に撮るのを忘れて食べかけですが。こんがり焼けて、中までアツアツ。



デザートはフルーツポンチ。お花を飾って可愛らしい食卓になりました。これなら、まるちゃんのお母さんもきっと喜んでくれたはず。私達も日頃お世話になっている人々を呼んで、みんなでおいしく頂きました。

料理についてはこのような感じで作っていただけたらと思う。また、料理だけでなく、原作のまる子のように、メッセージ付きのプレゼントを渡すという方法もあるだろう。いつもお世話になっている人たちに、何らかの形で感謝の気持ちを表すのは大切だ。けれども、実行するのは難しいものだとつくづく思う。しかし、そうであるからこそ、母の日や父の日など、大切な人に気持ちを伝える日があるのだと思う。「世間では感謝を伝える日ということになっている」という建前があれば、多少なりとも、気持ちも伝えやすくなるのではないだろうか。

今回はいつも使うような食材が多いけれど、さて、どんなご馳走が出来るかな。



グラタンは具材とマカロニ、ホワイトソースをフライパンで混ぜ合わせる。



グラタン皿に移すと一気にグラタンらしくなる。チーズとパン粉を振ってオープン。



卵とマヨネーズはしっかり混ぜる。塩気が足りなければ少しずつ調整して。



パンと具が馴染むように。この一手間で美味しさが変わる。



漫画に描かれているのを見ると、スタンダードなマカロニグラタンであることが分かる。まず、マカロニを茹でる。茹でながら、同時にホワイトソースも作ってしまおう。ホワイトソースは、バターを溶かし、薄力粉、牛乳、ナツメグ、塩、こしょうを混ぜ、2〜3分電子レンジで加熱。それから、鶏肉を一口大に切り、玉ねぎは薄切りにする。フライパンに油をしき、鶏肉、玉ねぎ、マッシュルームを加え、マカロニ、ホワイトソースと混ぜ合わせ、グラタン皿へ。その上に、チーズとパン粉を振りオーブントースターで3〜5分ほど、チーズが溶けてキツネ色になるまで焼く。最後に、パセリなどをちらせば完成。

## サンドイッチ (タマゴサンド・ハムレタスサンド)

まずは卵を茹でる(十二分ほど)。ゆであがったら殻をむき、黄身と白身に分け、白身は包丁で刻む。黄身と白身は、マヨネーズで和える。ハムは半分に取り、レタスは水洗い後よく水気を切っておく。それから、パンにバターを塗り、タマゴを和えたもの、ハムとレタスをそれぞれパンに挟む。具材を挟んだ後、パンはキッチンペーパーで包み、味をなじませる。十分ほど経ったら、包丁などでパンを半分に取り、盛り付ける。



# 旅 × 本

文 / 写真  
やよい

## 第四回

九州  
うまいもの巡り

今回の旅は、九州うまいもの巡り！二泊三日で  
北九州を旅してきました。

### 1日目

草木も眠る丑三つ時。宇都宮から羽田空港へ、  
そして、空港から長崎へと静かに旅立ちました。  
異国情緒あふれる長崎。まず腹ごしらえに、  
名物・長崎ちゃんぽんを食べに向かいました。  
開店直後に行きましたが、大盛況で一時間ほど  
待ちました。おなかを満たした後は、国宝・大  
浦天主堂、そしてグラバー園に向かいました。  
重ねてきた歴史に思いをはせながら、ゆっくり



大浦天主堂



と散策しました。  
この時期長崎では、  
街をあげての一大イベ  
ントがあります。その  
名も「長崎ランタン  
フェスティバル」。中

華街を中心にランタンを灯し、各種イベ  
ントを行います。二胡の演奏に耳を傾け、肉  
まん＆小龍包を食べながらぶらぶら。  
暖かな灯りと活気あふれる中華街を後に  
して、福岡に移動。一日目のメに水炊きを  
いただきました。旅行一日目の行程は、な  
んともハードでした。

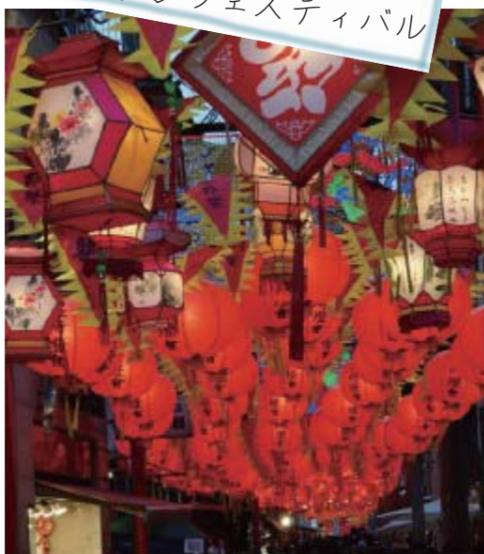
長崎ちゃんぽん



水炊き



長崎  
ランタンフェスティバル



### 3日目

旅行最終日の三日目。朝風呂を堪能して、別府の地獄巡  
りへ。別府は遥か昔から熱泥や熱湯が噴き出す地で、温  
泉の噴出口を「地獄」と呼び観光名所として賑わってき  
ました。今回は海地獄・鬼石坊主地獄・血の池地獄を巡っ  
てきました。硫黄の匂いがしみ込みそうな地獄巡りの後  
には、大分名物・とり天と極楽プリン(…)をいただいて  
来ました。

そして空港へ。最後の最後に、関サバ食べたいとわが  
ままを言い、近くのお寿司屋さんでお昼ご飯。：関サバ  
高し！一貫なんと六百円。回らないお  
寿司は怖いということを学んで帰って  
きました。

がっつりと九州の味覚を堪能した今  
回の旅。次はどこに行こうかな…？



『奉教人の死』芥川龍之介から

去んぬる頃、日本長崎の「さんた・る  
ちや」と申す「えけれしや」(寺院)に、  
「ろおれんぞ」と申すこの国の少年が  
こぼった…



博多一めん

たっぷり眠った二日目。  
ブランチに、細い麺と意  
外にさっぱりとした豚骨  
スープの博多ラーメンを  
堪能しました。続いて学  
問の神様・菅原道真を祀

### 2日目

る太宰府天満宮へ。受験の時に世話になったなど  
感慨も一入です。左遷された主・菅原道真公を慕っ  
てはるばる京都から飛んできたという、飛梅の蕾が  
ほころび始めていました。ほのかな花の香りと一緒  
に、春の足音がそっと聞こえてきそう。参拝後に名  
物の梅が枝餅をいただいてホッと一息。

福岡に別れを告げて、大分

は別府温泉へ。屋上に露天風  
呂があり、さっそく行ってみ  
たら：なんと洗い場も外！寒  
風吹きすさぶ寒空の下、体を  
洗う：温泉の温かさが身に沁  
みました。



太宰府天満宮



関アジ



極楽プリン



梅が枝餅



とり天



血の池地獄



海地獄

## としよがかり の声②

# 物語を支える 主人公の魅力！

## 〜第四回〜 完結編

文 小町

これまで述べてきたとおりオウス、つまりヤマト  
タケルはいわゆる主人公然とした性格を与えられて

いない事が分かる。たしかに、戦にはめっぽう強くその意味では  
剛毅で力強い主人公として見ることも可能であろう。けれども、  
一般的な物語では主人公の負の部分というのは何かの理由がなけ  
れば描かれないはずである。例えば、主人公が何かを苦手として  
いる場合、その苦手を克服することで主人公が成長していくといっ  
たような場合である。けれども、ヤマトタケルの話では彼の残酷  
性や狡猾さなどが物語の中で克服されるといったことはない。む  
しろ彼は最期慢心から死んでいってしまう。であれば、この主人  
公の主人公らしくない性格はどのように物語を支えているのだら  
うか。それは源行家が人を惹きつけることと何か関係しているの  
だろうか。

私はこうした主人公らしからぬ性質は、ある意味で読者を作品  
に惹きつける装置として作用していると考えている。一般的な主  
人公は、憧れを抱かせ、理想が投影される鏡となって読者を魅了

する。それに対し、こういった主人公は読者にある意味で『共感』  
を抱かせるのではないだろうか。

人間には美しい部分と醜い部分とがある。それはどちらも真  
実である。通常、人を引きつけようとするならば、良い部分を  
見せようとするのが当然である。しかし、ヤマトタケルのよう  
な主人公は負の部分を読者に見せる。そうすることで読み手に、  
主人公のリアリティや人間臭さを伝えることができる。こうす  
ること、過去に同じような失敗を経験した読者は深くその主  
人公の内面に触れたような感覚になることができる。

主人公には、二通りの魅力があり、一方は憧憬や尊敬、もう  
一方は共感や同情をもって読者を物語の世界に惹きつける。一  
度、自分のお気に入りの主人公がどちらのタイプなのか、そして、  
なぜそのキャラクターが好きなのかを改めて考えてみると、物  
語を一層楽しむことができるだろう。



## としよがかり の声③

### 遠野物語と妖怪

#### ④「遠野のオオカミ」

#### 文大納言



わが国には20世紀初頭までオオカ  
ミが生息していました。

ニホンオオカミという種類で中型犬くらいの大き  
さだったそうです。

最後に確認できたのは1905年ごろだそうです。  
ちょうど柳田氏が遠野物語の取材をしていた時期  
と被ります。

そのためか遠野物語の中にはオオカミを取り扱っ  
た話がいくつかあります。

遠野ではオオカミのことを御犬と呼ばれていて、  
鳴き声はとても恐ろしいそうです。

山中では腹が食い破られた鹿が見つかったことも  
あり、オオカミが出るといふ峠を越えるには複数  
人で行動しないと、200頭近いオオカミの群れ  
に馬が襲われてしまうというある意味クマより恐  
ろしい存在として描かれています。

今の世の中山の中で出会う犬科の動物というとき  
いぜい野良犬か狸か狐でしょうか。それでも20  
世紀初頭、つい100年前まではオオカミもいたっ  
てことはいまも実感かわかず、なんだか不思議  
な気分になります。

## おすすめ 本

『声に出して  
読みたい日本語』

齋藤孝 著 草思社

最近久々に本を朗読してみて、声に出して  
本を読む楽しさと日本語の美しさを改めて  
感じました。

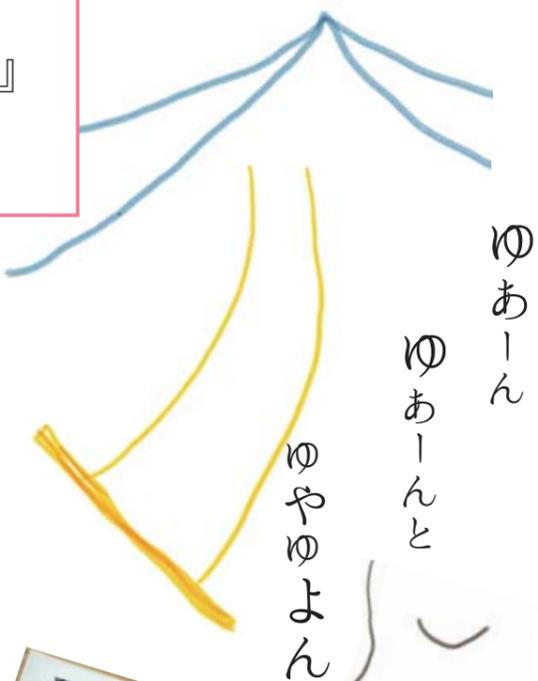
日本人なら一度は耳にしたことのある名  
文がズラリと並んだこの本は、声に出して  
本を読むために出版された本です。詩や俳  
句、そして小説の一部分などが抜粋されて  
収録されています。

特に詩は、響きの美しさやリズムもよい  
為、声に出して読むのにおすすめです。こ  
の本の中にも、萩原朔太郎の「竹」、中原中  
也の「サーカス」といった有名な詩が15編  
ほど収録されています。

目で、口で、耳で。音読は、身体を使っ  
て言葉を最大限に楽しむ方法なのかもしれ  
ません。ぜひこの本で自分のお気に入りの  
文章を声に出して読んでみてください。



中原中也  
『サーカス』より



ゆあゆよん

## 小さな蔵の映画祭

日付：5/27(土)

場所：矢板武記念館西蔵

上映作品：「麦秋」(125分)

開場：10:00

上映開始：10:10



蔵\*武 project  
の活動の詳細は、  
こちらをチェック→



## ご案内

### 蔵の イベント 情報

本だけ  
じゃない



## 蔵 DE Books 利用案内

入館料100円。

(蔵で飲み物の提供あり)

・貸出し可。(一人2冊。2週間まで)

※駐車場はありません。

市役所駐車場をご利用ください。

・利用時間(注)片付け時間を含む。

4月~10月 9:45~15:30

11月~3月 10:15~14:30

休館日は月曜、火曜、祝日の翌日及び、

年末年始(12月27日~1月5日)

## 本の寄贈について

受付日：毎月最終土曜日

受付先：矢板武記念館受付

※スペース等の都合により、

本を本棚に並べられない

こともあります。

※公序良俗に反するもの、

宗教や思想色の強い本を

並べることは出来ません。

## まちライブラリーに加入しています。

まちライブラリーとは、まちのあちこちに本棚を置き、本を通して人との縁を繋ぐ活動です。全国で展開しています。

寄贈の際は、メッセージカードに感想などを記入してください。

本に付いたメッセージカードが次々に本を読んだ人たちの想いを伝えていきます。

蔵 DE Books の全ての本にはまちライブラリーのシールを貼付。

## 蔵\*武 project メンバー募集!!

矢板が好き、古い建物を活かしたい、文化、芸術に興味がある方。

一緒に蔵\*武 project をもりあげませんか。年齢・経験不問です。

お問い合わせは p.kuratake@gmail.com まで。

蔵\*武 project とは

矢板武記念館の蔵を人が集まる場所に再生することを目的に、矢板武塾卒生を中心とした20~30代の若者達が活動。

お問い合わせ：p.kuratake@gmail.com までメール

